

授業科目名	【Gカリキュラム】 法学政治学演習Ⅰ・Ⅱ ※本年度は開講せず 【EFカリキュラム】 法学政治学演習Ⅰ・Ⅱ	選択必修	開講年次	【G】2 【EF】2	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	専門科目：【G】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）／【EF】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目 【EF】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	主要なビジネスに関する法律を学習しビジネスパーソンとしての素養を身につけよう。	担当者	仲宗根 京子			
授業概要	<p>【概要】 皆さんが大学卒業後、社会人となり、仕事上、あるいは地域社会などでトラブルにみまわれたときには、解決するための法的知識ならびに法的思考力が不可欠になります。そこで、この授業では、日々の生活において関わる可能性がある主要なビジネスに関する法律を学習し、皆さんがビジネスパーソンとして将来備えておくべき法律の知識や法的思考力を養うことを目標とします。</p> <p>【到達目標】 自分の身の回りにある社会の現象から、広くビジネス法に関わる法的問題点を抽出し、自分が習得した法律知識で分析する能力を高めることを目標とします。そして、分析結果についての自分の考えをまとめて、他の受講者の前で口頭発表し、レポートで報告する技術を習得することも目標と致します。</p>					
履修条件						
教科書・参考書	<p>【教科書】 開講時に指定いたします。</p> <p>また、レジュメ等の資料を毎回配付致します。授業には配付済みの資料を毎回すべて持参してください。</p> <p>【参考書】 江頭憲治郎ほか『会社法判例百選』（第2版、2011年、有斐閣） 江頭憲治郎ほか編『商法（総則・商行為）判例百選』（第5版、2008年、有斐閣）、判例六法</p>					
授業回数	授業内容					
授業内容	<p>【授業内容】 会社法、商法、保険法、消費者保護法と電子商取引法、など、ビジネスに関わる、いわゆる「企業法」全般を、学習の対象と致します。素材は、最近、身近なビジネス社会で発生している法律問題です。</p> <p>【講義の進め方】 一方的な講義方式はとらず、テーマの選択の段階から、学生さんに自ら教材を選んで貰い、時には数人に分かれてグループ学習をした結果をレポートしてもらったり、時には単独でレポートした上で、そのレポートを題材に全員で討論する形式で進めていきます。 身近な、テレビ・新聞等による最近の報道事例や裁判事例、とりわけ重要な判例や話題性のある記事を多く採り入れてもらい、事件と法との関わりについて討論を進めていきます。 各学期末には最終レポートを提出してもらいます。</p> <p>【留意点】 法律の学習の基本は条文が出てきたら必ず該当条文を六法で引くことですので、各自必ず持参してください（出版社は問いませんが、できれば判例付六法が望ましいです）。 この授業では現代ビジネスにおける法の役割を学習することを目標としていますので、日頃から新聞を読むなどして、社会でどのような企業活動が行われているのか関心を持つように心がけると良いでしょう。 また、課題の調査においては、プレゼミなどで培った法律文献の調べ方のスキルを上手に使われて下さい。 更に、今まで学習してきた民事法（会社法・商法などの企業法だけでなく、広く民法を含む分野です）の法的知識を、具体的な事実を照らす懐中電灯のような道具として、法的分析に用いる能力（法的思考力）を培うように意識されると良いでしょう。</p>					
予習復習内容	講義中にわからなかった用語を調べたり（もちろん、講義中、質問して解消できた方がいいですが）、学んだ法律事項に関連する条文を、六法で確認し、判例付六法であれば、関連判例をチェックすると、とても実力がついてくると思います。					
評価方法	出席率を含む積極的な授業参加態度（30%）と発表および理解度（70%）で評価致します。					
評価基準	上記授業内容について、これをよく理解し、適切に表現できた方はその程度に応じて「S」または「A」とし、単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある方はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な方はその程度に応じて「D」または「E」と致します。評価不能な場合、「F」と致します。					
その他	※G 刈：法【Ⅰは選択必修（A）・Ⅱは選択必修（B）】 刈※【Ⅰは選択必修（A）・Ⅱは選択必修（B）】 情【Ⅰは選択必修（A）・Ⅱは選択必修（B）】／EF 刈：法【選択必修（γ）】 刈※【選択必修（γ）】 経【選択必修（γ）】					